

入学前教育と初年次教育の連携に関する研究

～学士課程教育、キャリア教育への連携を目指して～

Collaboration of Pre-entrance Education Program and First-Year Education Program

共同研究メンバー

○小西英行*、梅澤佳子*、野坂美穂*（○代表、執筆者）

Keywords : Pre-entrance Education Program, First-Year Education Program

1. 入学前教育と初年次教育の現状と課題

入学前教育の形態としては、「通信教育による自宅学習」タイプ、「スクーリング」タイプ、そして「通信教育による自宅学習」と「スクーリング」を併用するタイプがある。また、入学前教育の類型（目的）としては、学習習慣維持型、リメディアル型、自校教育型などがあるが、初年次教育に直結するタイプは少ない。さらに、入学前教育の効果としては、入学前教育の成果と入学後の成績との正の相関（山本ほか 2011 など）があげられるが、初年次教育へ直結した効果を意図するものも少ない。

一方で、初年次教育の形態は、アクティブラーニング型がほとんどで、その類型（初年次教育学会第9回など）としては、「大学適応」タイプ、「学修スキル重視」タイプ、「研究基礎重視」タイプがあるが、入学前教育と直結したタイプも少ない。さらに、初年次教育の効果としては、「大学適応」タイプ、「学修スキル重視」タイプ、「研究基礎重視」タイプがあるが、入学前教育と直結し、スタートダッシュを意図したものも少ない。

そして、入学前教育と初年次教育の接続の現状としては、入学前教育の対象となる学生は、主に AO や推薦入試の入学生であり、学習習慣がない学生向けには「学習習慣維持」タイプ、基礎学力が低い学生には「リメディアル」タイプ、修学意識が低い学生には「自校教育型」タイプがあるが、入学前教育の成果の可視化と、初年次教育への連結を意図したものは少ない。また、センター入試・一般入試による入学生に対しては、入学までの時間的余裕が少ないため、入学前教育の実施が難しいが、初年次教育へのスムーズな移行の観点からみて、何らかの入学前教育を提供できることが望ましい。

ところで、入学前教育と初年次教育の連結の必要性については、実際の大学の普段の1日の体験を、大学選びの一つとして活用しようとする「WEEKDAY CAMPUS VISIT (WDCV)」の例からもわかるように、入学前教育の経験が入学後の学びに強く影響を与えることから、入学前教育と初年次教育が一体となって連続性を持つこと、つまり入学前教育は初年次教育の先取りの内容として実施されることが重要である。本研究の狙いはこうした問題意識のもと、入

* 多摩大学経営情報学部 School of Management and Information Sciences, Tama University

学前教育の内容を、初年次教育で実際に行われる内容をもとに実施することによる、教育効果を検討することにある。

2. 多摩大学経営情報学部における入学前教育の取り組み

多摩大学経営情報学部の入学前教育は、AO入試・推薦入試の入学生に加えて、センター入試・一般入試の入学生を含めた全入学生を対象としている。AO入試・推薦入試の入学生に対しては、「スクーリング&自宅学習」併用タイプを、センター入試・一般入試の入学生に対しては、「通信教育による自宅学習」タイプを実施している。その内容は、主に「自校教育」と「学習習慣」についてであるが、いずれも初年次教育で実施する内容の先取りを、AO入試・推薦入試の入学生に対しては「スクーリング」タイプで実施しているが、センター入試・一般入試の入学生に対しても、同じ内容を「通信教育」のタイプとして実施している。

具体的な入学前教育の内容は、初年次教育の「自校教育」で実施する内容に連動して、志望理由書を発展させて、将来のつきたい仕事、夢などのテーマを選定し、その仕事や夢などの現状を詳しく調べて分析し、入学後の4年間で学びたいことをまとめる課題を実施している。また、初年次教育の「学習習慣」で実施する内容に連動して、新聞記事の内容を理解して要約する、「箇条書き予習・復習確認用穴埋め課題」や、内容に関する「調べ学習」やその「要約レポートの作成」という内容を、入学前教育として実施している。「箇条書き予習・復習確認用穴埋め課題」は、「ビジネススキル入門」、内容に関する「調べ学習」は、「プレゼミ(1年生ゼミ)」、「要約レポートの作成」は「スタディスキル入門」のそれぞれ初年次教育科目において実施している内容に連動している。

3. 多摩大学経営情報学部における初年次教育の取り組み

2019年度の経営情報学部の初年次教育科目は、表1のとおり19科目あり、そのうち主に入学前教育と連動する科目は、「多摩学」、「プレゼミ」、「スタディスキル入門」「ビジネススキル入門」である。自校教育については、多摩学とプレゼミ(初年次ゼミ)において、学習習慣については、ビジネススキル入門・スタディスキル入門において、それぞれ実施している。

自校教育では、例えばプレゼミにおいて、志望理由書を発展させ、多摩大生夢日記(将来計画)の作成という課題を実施している。多摩大生夢日記とは、多摩大学入学時から、4年間の学び、卒業時、就職時、結婚時、転職時、起業時、退職時、退職後などを、志望理由書を発展させて、紙芝居形式のPPTを作成し、発表するもので、将来の夢を見据えた、4年間の学びを考えるきっかけとしている。

また、学習習慣においては、ビジネススキル入門における予習・復習の確認として、穴埋め課題&設問課題を毎授業で実施している。具体的には、毎回の授業で、前週に配布した予習課題の取り組みをの確認を当該授業の冒頭で全受講生を対象に実施し(図1: 箇条書き予習・復習確認用穴埋め課題の例)、当該授業で学んだことを4択設問をクリッカーを用いて授業内で確認している。穴埋め課題は、テキストの箇条書要約に一部()で空欄を作り、テキストの該当部分をしっかりと読んで、空欄に入る言葉を記入する方式で実施している。なお、()に入る言葉は、テキストと同じ文言が、《 》に入る言葉は、英語や同義語が、

[] に入る言葉は、自分で調べた内容を記入するように工夫されている。

表 1. 2019 年度の経営情報学部初年次教育科目（シラバスより転載）

内容 (中央教育審議会大学分科会大学教育部会)	科目 ★：全員履修科目
①大学生活への適応(大学生活、学修、対人関係等)	★プレゼミⅠ ★プレゼミⅡ
②大学で必要な学修技術の獲得(読み、書き、批判的思考力、調査、タイムマネジメント)	★スタディースキル入門 ★ビジネススキル入門 ★ITコミュニケーション入門 ★ビジネス数学基礎
③当該大学への適応	★多摩学Ⅰ ★多摩学Ⅱ
④自己分析	★多摩学Ⅰ(上記③を兼ねる。) ★多摩学Ⅱ(上記③を兼ねる。)
⑤ライフプラン・キャリアプランづくりへの導入	ライフ・デザイン ★キャリア・デザイン入門
⑥学修目標・学修動機の獲得	★多摩学Ⅰ(上記③④を兼ねる。) ★多摩学Ⅱ(上記③④を兼ねる。)
⑦専門領域への導入	★地域ビジネス入門 ★グローバルビジネス入門 ★ITビジネス入門 ★グローバルヒストリーⅠ ★グローバルヒストリーⅡ ★IT活用法Ⅰ マーケティング入門 マクロ経済学 ミクロ経済学

予習用サブノート

テキスト該当部分

現代の志塾 多摩大学

図 1. 箇条書き予習・復習確認用穴埋め課題の例

4. 多摩大学における入学前教育の初年次教育の接続の現状と課題

入学前教育については、AO 入試・推薦入試の入学生に加えて、同じ内容を通信教育のタイプではあるが、センター入試・一般入試の入学生を含めて、全入学生に対して実施を徹底した。2月までの入学手続き者は全て郵送で提出を求め、3月以降の入学手続き者については、入学後のプレゼミ（初年次ゼミ）担当教員に、初回授業時に提出することとし、郵送提出・入学後提出を含めて、全員提出を徹底した。また、入学前教育をやりっぱなしにしないために、3のように複数の初年次教育で活用することで、初年次教育に連動した入学前教育の実施となり、入学者の学習のスタートダッシュにつながった。2019年度入学生より連動型を実施したことで、連動未実施の2018年度入学生とを比較すると、予習初回実施率がおおよそ50%から80%へ、予習継続率が30%から50%へ、それぞれ向上が見られた。

5. まとめ

多摩大学経営情報学部で2019年度入学生に対して実施した入学前教育課題は、初年次教育におけるいくつかの科目においてそのまま引き継がれる内容であったため、特に入学後に必要とされる各科目の事前予習課題について、その実施率が初回から80%近くとなり、2018年度の入学生に実施した同じ事前予習課題の初回実施率が50%前後であったことと比較して、大きな成果があったといえる。

<参考文献>

- ・伊藤知子・竹端佑介・山口直範・橋本義郎・正木美知子・黒川清・下野辰久（2014）、「入学前教育への取り組み状況と1年次前期成績との関連」、国際研究論叢 27（3）
- ・山本以和子・内村浩（2011）、AO入試入学者の学習活動追跡による傾向分析、大学入試研究ジャーナル 21
- ・山本以和子（2018）、ダビンチプログラムの高大トランディション面における検証－入試と入学前教育の機能設計に着目して－、大学入試研究ジャーナル 28
- ・南木睦彦（2019）、入学前教育と初年次教育の連携－流通科学大学の「気づきの教育」への円滑な移行と準備－、大学時報 38
- ・及川愛・石田あすみこ（2019）、入学前教育の力点はシフトしている－入学前教育を充実させる観点の整理－、大学時報 384
- ・ベネッセ（2018）、高大接続改革期の入学前教育、その課題と可能性～進研アドセミナー報告、進研アド
- ・舟橋啓臣・加藤真弓・木村菜穂子・松村仁実・木村元則、中途退学防止に向けてのプレースメントテストおよび休学前教育の有用性、愛知医療学院短期大学紀要第7号
- ・鶴飼昌男（2019）、高大接続から見た大学の初年次教育のあり方について：入試が選抜機能を十分果たさない現状に対する提案、関西大学高等教育研究 10